

# 都市・農村共生社会創造 全国リレーシンポジウム

# in 東京

## ～田園回帰の時代を迎えて～

**日時** 平成27年11月7日(土)  
13時00分～17時00分(開場12時00分)

**会場** コンベンションルームAP東京 八重洲通り  
(東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル7F)

**参加料** 無料

**定員** 300名(先着順)

第1回 山形(7/18)  
第2回 愛知(8/22)  
第3回 東京(11/7)  
第4回 広島  
第5回 熊本

平成27年度  
全国5ヶ所で  
開催

### 開催趣旨

都市住民、特に若者や子育て世代などの農村志向が高まっています。こうした動きを「田園回帰」として捉え、農村の持つ可能性と存在意義を見つめ直し、農村と都市が協力し合いながら共生する社会を創造するために、私たちは何をすべきでしょうか。基調スピーチによる問題提起とパネルディスカッションを通じて考えます。

### 基調スピーチ 「田園回帰と日本の未来」



コモンズ代表  
大江 正章 氏



明治大学農学部教授  
小田切 徳美 氏



千葉大学法政経学部教授  
広井 良典 氏



### パネルディスカッション 「田園回帰のススメ～共生と循環の扉を開く」



コーディネーター  
島根県中山間地域研究センター  
研究統括監  
藤山 浩 氏



島根県邑南町定住支援  
コーディネーター  
横洲 竜 氏



株式会社 山の暮らし舎  
代表取締役  
須田 元樹 氏



合同会社 PotLuckField 里美代表  
元地域おこし協力隊員  
長島 由佳 氏



コメンテーター  
日本大学経済学部教授  
沼尾 波子 氏

主催：全国町村会 一般財団法人 地域活性化センター

協力：岩波書店 コモンズ 一般社団法人 農山漁村文化協会(農文協)

# プログラム

13:00 開会

主催者挨拶 全国町村会長 藤原忠彦(長野県川上村長)

映像放映【20分】「田園回帰する人たち」

13:30 基調スピーチ【30分×3】「田園回帰と日本の未来」

15:00 コモンズ代表 大江 正章 氏・明治大学教授 小田切 徳美 氏・千葉大学教授 広井 良典 氏(※順序未定)

「地方消滅」が言われるなかで、着実に進行する田園回帰は何を意味するのか。分野が異なる3人の論者が、その同時代的意義を、社会の動き、農山村、都市、若者等について多面的に語り、日本の未来を展望する。

講 師 (50音順)		
コモンズ代表 大江 正章(おおえ ただあき) 氏 神奈川県出身。早稲田大学政治経済学部卒業。コモンズ代表。ジャーナリスト、アジア太平洋資料センター共同代表。関心領域は、農・食・環境・自治・アジアなど。主著「農業という仕事-食と環境を守る」(岩波ジュニア新書)、「地域のカー・食・農・まちづくり」(岩波新書)、「地域に希望あり-まち・人・仕事を創る」(岩波新書)。	明治大学農学部教授 小田切 徳美(おだぎり とくみ) 氏 神奈川県出身。東京大学大学院修了。専門は農村政策論、地域ガバナンス論。東京大学助教授を経て、2006年より現職。ふるさとづくり有識者会議座長、国土審議会委員、過疎問題懇談会構成員。食料・農業・農村政策審議会委員。全国町村会・今後の農林漁業・農山村のあり方に関する研究会座長。近著「農山村は消滅しない」(岩波新書)、「はじまった田園回帰:現場からの報告」(農文協ブックレット)他。	千葉大学法政経済学部教授 広井 良典(ひろい よしのり) 氏 岡山県出身。東京大学教養学部卒業、同大学院修士課程修了後、旧・厚生省勤務を経て1996年より千葉大学法経学部(現・法政経済学部)助教授。2003年より同教授。この間(2001~02年)マサチューセッツ工科大学(MIT)客員研究員。著書に「コミュニティを問いなす」(ちくま新書、大佛次郎論壇賞受賞)など多数、近著「ポスト資本主義」(岩波新書)。

15:15 パネルディスカッション【105分】「田園回帰のススメ~共生と循環の扉を開く」

17:00 田園回帰は、都市と農村のバランスを回復する中で、長続きのする暮らし・地域社会・経済を見出そうとしています。コーディネーターの解題を交えながら、先駆者の生の声をお聞きし、共生と循環の扉を開こうとする田園回帰の具体的な展開を考えます。

コーディネーター	パネリスト 田園回帰の実践者		コメンテーター	
島根県中山間地域研究センター研究統括監 島根県立大学連携大学院教授 博士(マネジメント) 藤山 浩(ふじやま こう) 氏 島根県出身。一橋大学経済学部卒業。広島大学大学院社会科学部研究科博士課程後期修了。1998年より島根県中山間地域研究センター勤務。近著「田園回帰1%戦略-地元の人と仕事を取り戻す」(農文協)、「地域再生のフロンティア」(共編著・農文協)他。	島根県邑南町定住支援コーディネーター 横洲 竜(よこすりゅう) 氏 広島県出身。高校卒業と同時に上京。グラフィックデザイナー等の仕事をしながら東京で13年過ごす。両親との死別をきっかけに広島に戻る。接客業、広告関係モデルのマネージャー等の仕事を経て、2010年9月、邑南町の定住支援コーディネーターとなり、広島市中区より移住。移住相談役として現在5年目。	株式会社 山の暮らし舎代表取締役 須田 元樹(すだ もとぎ) 氏 東京都出身。池袋に生まれ、郊外の公団住宅(3300世帯)に育つ。東京理科大学理学部卒。2013年株式会社山の暮らし舎(kura-shi.com)を150世帯の岡山県の小さな村で創業。農産物のweb販売を通じて地域と都市の関係構築に奔走中。	合同会社 PotLuckField 里美代表 長島 由佳(ながしま ゆか) 氏 東京都出身。清泉女子大学地球市民学科卒業後旅行会社に勤務。2011年茨城県常陸太田市に移住。里美地区を拠点に地域おこし協力隊「Relier(ルリエ)」として活動を開始。2015年3月「合同会社 PotLuckField 里美」を仲間と共に設立。「地域づくり」「教育」「情報発信」を軸とし、地域のニーズをベースに活動展開中。	日本大学経済学部教授 沼尾 波子(ぬまおなみこ) 氏 千葉県出身。慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程修了。慶應義塾大学経済学部研究助手、(財)東京市政調査会研究員等を経て2008年より現職。専門分野は財政学・地方財政論。地域経済活性化における自治体の機能と役割について調査研究を行っている。著書に「公私分担と公共政策」(共著:日本経済評論社)、「テキストブック地方自治」(共著:東洋経済新報社)、「ケアを支えるしくみ」(共著:岩波書店)ほか。

17:00 閉会

## アクセス・申込み方法

- ・東京駅八重洲中央口徒歩6分、東京メトロ日本橋駅徒歩5分・京橋駅徒歩4分
- ・参加ご希望の方は、下記申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送、またはメール、FAXで送付してください。

申込締切: 10月30日(金)(定員に達し次第締め切らせていただきます)

## ■申込み・問い合わせ先

一般財団法人 地域活性化センター 企画・コンサルタント業務課  
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階  
TEL 03-5202-6133 FAX 03-5202-0755 E-mail kikaku@jcrd.jp



## 参加申込書

フリガナ		都道府県	都道	市区
氏名		市区町村	府県	町村
職業 (会社名・学校名)				
TEL		FAX		
E-mail				